

内閣総理大臣表彰

●個人（五十音順・敬称略）

公益財団法人関西消費者協会理事 藏本 一也



この度は栄誉ある総理大臣表彰をありがとうございました。

私が消費者問題に取り組んだ2000年当時は、消費者志向経営やCSR経営などが普及しておらず、企業経営において、顧客満足の提供が重大な使命でした。その後、ISO26000などの普及により、一気に企業経営者が消費者志向経営に取り組むようになりました。消費者庁の貢献は多大なものがあります。

先駆的な企業を応援する仕組みをさらに構築し、トップランナーを育成することにより更に消費者志向経営を普及させることが出来ます。微力ながら応援させていただきます。

皆様のますますご清栄を期し、この度の受賞に感謝いたします。

一般財団法人日本消費者協会理事 河野 康子

この度、消費者支援功労者として表彰いただきましたこと、心から嬉しく、活動をともにしてきた多くの関係者の皆様感謝の気持ちでいっぱいです。振り返れば、生活協同組合の活動に参加したことから全国消費者団体連絡会や日本消費者協会などで消費者問題と深く関わることになり、今日に至りました。現在携わっている消費者団体訴訟制度を支援する消費者スマイル基金の活動は、他人任せにせず自ら学び行動する消費者でありたいという思いが原動力です。消費者を取り巻く状況は厳しいものの、法整備や消費者団体の取組みによって改善が図られるのと同時に、消費者志向経営を推進する事業者が増えることで、公正で健全な市場の維持・向上につながることを願っています。



佐賀大学医学部救急医学教授 阪本 雄一郎

この度、名誉ある賞を頂き大変光栄でございます。この場をお借りして事故情報の調査が新たな事故の予防に重要である事をご理解いただき、事故の詳細な情報をご提供いただきました多くの佐賀県民の皆様にご心より御礼申し上げます。



我々は医療機関ネットワーク事業に、医療機関として2010年12月の開始時より現在まで継続的に参画させて頂いております。自分の本職である救急医学の臨床現場におきましても、消費者事故の詳細な検証のもとで適切な注意喚起を行うことは、新たな重大事故の予防に役立つと実感しております。我々が何気なく利用している食品や製品、遊具などの施設等が時として重大な事故を引き起こす可能性がある点を事前に察知し、予防策を講じることは極めて重要です。医療機関ネットワーク事業は、この重要性を理解しご協力いただける国民の皆様の情報提供と、医療機関の事故調査員や運営主体である消費者庁及び国民生活センターの皆様のご地道な作業によって成り立っており、多くの皆様のご努力を代表して頂いた賞であると感じております。

今回の表彰を励みに、微力ではございますが医療機関ネットワーク事業や消費者安全調査委員会の専門委員としての活動にも励みたいと思います。

● 団体 (敬称略)

徳島県立阿南支援学校

この度は、大変栄誉ある賞をいただき、本当にありがとうございました。児童生徒および保護者、教職員はこの受賞を大変喜び、また勇気づけられました。本校ではこれまで高等部の作業学習の中で、地域の方々の協力を得ながら、近隣の放置竹林の再生に結びつく「竹紙」や「竹パウダー」の製造・活用を進めてきました。また小・中・高等部のすべての児童生徒が、様々なリサイクル資源を利活用する学習を行ってきました。今回の賞は、こうした学校の「エシカル消費教育」の取組全般を評価いただいたものと思っております。今後とも、本校ではこの取組を推進しながら、知的障がいのある児童生徒の「地域貢献の力」を社会に向けて発信し続けて参ります。

